

# 鳥取県学校体育研究連合会

## 1. 本会の活動概要

### (1) 目的及び事業

この会は、学校体育の研究調査を行い、あわせて指導者の資質の向上並びに学校体育研究団体の連絡提携を図り、もってその振興に寄与することを目的とする。

この会は、目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 学校体育の研究調査。
- ② 学校体育に関する講演会、研究会及び講演会等の開催。
- ③ 学校体育研究相互の連絡提携。
- ④ 学校体育優良校、功労者の推薦。
- ⑤ 機関紙の発行。
- ⑥ その他、この会の目的を達成するために必要な事業。

### (2) 組 織

この会は、鳥取県小学校体育研究会・鳥取県中学校保健体育研究会・鳥取県高等学校体育研究会及び鳥取県女子体育連盟の研究団体を加盟団体とする。

本会には以下の役員をおいている。

会 長	1名	副会長	若干名	理事長	1名	監 事	2名
幹 事	2名	顧 問	若干名				

## 2. 平成30年度の主な活動内容

### (1) 総会及び表彰推薦選考委員会

期 日：平成30年6月29日（火）  
場 所：鳥取県庁  
内 容：前年度事業並びに会計決算報告  
今年度事業並びに会計予算計画  
役員の確認、表彰推薦選考委員会

### (2) 全国学校体育研究発表大会 佐賀大会

期 日：平成30年11月15日（木）、16日（金）  
場 所：佐賀県文化会館他  
全国表彰：功労者 2名、優良校 中学校1校  
懇 親 会：佐賀市内

### (3) 鳥取県小学校体育研究会の活動・研究等

#### 1. 夏季一泊研修会

県内の小学校教員を対象に、毎年夏季休業中に開催している。その際、研究部が研修内容を、外部講師等を選定している。

1日目の午前には講演、午後は実技研修を行う。2日目の午前にはローテーションで各郡市の実践報告等を行っている。午前の講演内容が、午後の実技に直結しており、体を動かしながら指導方法等の研修をできるように運営している。今年度は昨年度同様県外からの参加者もあり、約120名の参加者で盛大な研修会となっている。

平成30年8月6日(月)、7日(火) 講演：水明荘、実技：湯梨浜町立東郷小学校

〔講師〕三輪 佳見 氏(宮崎大学 教授)

〔研修内容〕

- ①講演「運動が苦手な子どもの指導を考える」(器械運動領域)
- ②実技「同じ内容を異なる課題で指導するマット運動」
- ③研究推進
- ④研究発表 保健：八頭郡 水泳：西伯郡



#### 2. 鳥取県小学校体育研究発表大会

9つある郡市でローテーションを組んで、隔年開催している。多くの郡市で開催することにより、全県の体育指導力の向上と体育好きな児童を増やすことをねらっている。授業を通して児童の様子を見ることはもちろん、指導方法や準教科書の活用等を研修している。

今年度は山間部にある日野郡の担当で、小規模校ではあるが持ち寄りで授業を行うなど大会を工夫して運営し、参加者も約140人の関心の高い大会となった。

平成30年10月19日(金) 日野町立根雨小学校・日野中学校

〔公開授業〕

- ・器械・器具を使つての運動遊び…1・2年
- ・ボール運動(ソフトバレーボール)…6年
- ・保健(病気の予防)…6年

〔講師〕岩田 靖 氏(信州大学教育学部 教授)

〔講演〕「体育の主体的・対話的で深い学びと教師の指導性」

～ボール運動(ゲーム)の授業の視点から～



#### (4) 鳥取県中学校保健体育研究会の活動・研究等

##### 1. 鳥取県中学校保健体育研究会理事会

平成30年5月25日(木)：倉吉未来中心 小研修室2

[内容]

平成30年度事業並びに決算承認について  
平成31年度事業並びに予算承認について  
体育優良校、功労者推薦について

##### 2. 県保健体育研究発表会の取り組み

米子市(第2ブロック)：5月～11月

- 研究主題、研究推進方法等の決定
- 研究会会場、研究協議、授業担当等決定
- 研究内容の集約、紀要作成
- 当日日程、役割分担 → 前日準備会

##### 3. 鳥取県中学校保健体育研究発表大会

県内郡市を5ブロックに分け、ローテーションを組んで毎年開催している。全県指導者の体育指導力の向上と指導要領に基づいた最新の指導法を学ぶことをねらっている。また、著名な講師を招いて行う講演は毎年参加者から好評を得ており、今年度もボトムアップ理論で高い成果を上げておられる畑喜美夫先生から貴重なお話を聞くことができた。

平成30年11月17日(金)：米子市立福米中学校、県立米子産業体育館

[研究主題]

「生徒自ら課題解決に向け、主体的に学習する指導法の工夫」

[公開授業] 「バレーボール」 米子市立福米中学校

[全体会] 研究経過報告、全国功労者・優良校、県功労賞表彰伝達、研究協議

[講演] 『自ら考えて積極的に行動する力を育むボトムアップ理論』

[講師] 畑喜美夫氏(広島県立安芸南高校・一般財団法人ボトムアップパーソンズ協会)



#### 4. 図解体育・新保健体育ワーク編集委員会

鳥取県版体育副教材、図解中学体育と保体ワークの内容を検討する編集会議。本研究会の役員の外に、中体連の研究委員も同席させ、専門的立場からの意見を参考にして資料の内容を吟味している。

平成31年1月25日（金）：鳥取県立福祉人材研修センター

〔協議内容〕

平成31年度図解体育、新保健体育ワーク、同鳥取県版について

〔講演・講師〕 図解中学体育監修 本村 清人 氏

#### (5) 鳥取県高等学校研究会の活動・研究等

##### ○東部地区保健体育研究会

例年、東部地区の高等学校が順に幹事校を担い、研究会を開催している。今年度は鳥取県立鳥取商業高等学校が幹事校として講演会による研修を企画した。当日は、東部地区の多くの会員が教科指導と部活指導のレベルアップを図るために参加し、研修に励んだ。

講演内容は専門的な内容でありながら、講師の先生の説明が大変理解しやすく日々の実践に生かすことができる内容であった。その中でも女性アスリーの三主徴に関しては、「指導を通して悩んでいたことが解消された」と、講演後に会員から発言があがるなど有意義な研修となった。

平成30年11月22日（木）：白兔会館

〔演題〕「スポーツと栄養」

〔講師〕 山田恭子 氏（医療法人（財団）共済会 清水病院 管理栄養士）

〔講演内容〕

- ①スポーツにおける栄養の役割
- ②1日の消費エネルギーの推定方法、基礎代謝基準値
- ③スポーツに関するIOCの合意声明
  - ・アスリートのための糖質接種に関するガイドライン
  - ・タンパク質の摂取量
  - ・サプリメントの利用方法
  - ・水分補給の方法
- ④アスリートが必要とする栄養素を摂取するための食事・メニュー
- ⑤発育時の食事の重要性
- ⑥女性アスリーの三主徴（エネルギー不足、骨粗鬆症、無月経）
- ⑦エネルギー不足がもたらす症状と予防法

注) 中・西部地区は組織なく、高校の組織拡大が課題

(6) 鳥取県女子体育研究部の活動・研究等

月 日	事業内容	備考
5/12 (土)	日本女子体育連盟第1回全国理事会	国立オリンピック記念青少年総合センター
5/18 (金)	平成30年度理事会・総会・研修会	まなびタウンとうはく
5/27 (日)	日本女子体育連盟通常総会	国立オリンピック記念青少年総合センター
7/31 (火)	夏季講習会 安江美保先生 (ノートルダム清心女子大学)	アドバイザー派遣事業 大栄小学校、倉吉交流プラザ ※下記詳細
8/7(火) ～10(金)	第31回全日本高校・大学ダンス フェスティバル (神戸)	神戸文化ホール 神戸中央体育館
8/14 (火)	しゃんしゃん祭り参加	鳥取市 38名参加
8/18 (土) ～19 (日)	全国女子体育研究大会 (東京) JAPEW SUMMER SEMINAR2018 「ダンスがひらく 学びの世界 地域をつなぐ 未来へつなぐ」	国立オリンピック記念青少年総合センター
2/9 (土)	日本女子体育連盟第2回理事会	沖縄県
2/10 (日) ～11 (月)	ダンスムーブメントセミナー2018in 沖縄	沖縄県立奥武山総合運動場 武道館
2月中旬	冬季研修会	
3月下旬	平成30年度 役員会	

1. 夏季講習会

〔研修テーマ〕 認め合い、発揮し合うダンスの楽しさ体験

「 双方向的で創造的な学びを実現す表現運動・ダンスの授業づくり

～ 子どもの動きを引き出す魔法の言葉 ～ 」

〔講師〕 ノートルダム清心女子大学 安江美保准教授

〔概要〕 午前：講義・DVD視聴

「12年間の学びの連続」表現運動の指導とのつながりについて」

実技：心と体ほぐし、ヒップホップのリズムと動きの取り方



〈音楽室にて〉



〈なりきって〉



〈我を忘れて〉

午後：表現系ダンス 「 椅子を使って 」 のダンスの一コマ



## 2. 研修のまとめと今後に向けて

安江先生の表情や言葉かけで受講者の心も軽く、我を忘れて自然とダンスの魅力に引き込まれていました。今すぐにも学校に戻り、即興表現の楽しさを生徒に伝えたいと誰もが思いました。「12年間の学びの連続」と「みんなと一緒にポイントを学びつつ、各々が個性を生かし違ったダンスが最高。」に持っていくことが重要であることを再確認しました。質問では、現場での悩みについて丁寧に分かりやすく教えていただき、あっという間の1日でした。